

とり村回覧板

Vol.
34

2024年 冬号

認定NPO法人TSUBASA
「人・鳥・社会の幸せのために」
tel.048-480-6077
www.tsubasa.ne.jp
埼玉県新座市中野2-2-22

【グラン】@カナリア

フワフワしたカナリアのグラン。小さなお目々と特徴的な嘴はインコが多いTSUBASAの中で目を引きます。この子は、飼育困難家庭からレスキューとしてやってきました。この子の他に複数のカナリアがその場にいましたが残念ながら、グラン以外はすぐに亡くなってしまいました(グランを含めたレスキューについてはQRコードからご覧下さい)。過酷なレスキュー現場から繋



がった命です。最初にグランが歌っているのを聞いたときは、体力的にも気持ち的にも歌う余裕を持てていることを嬉しうと感じました。安全で快適な住環境、そして満足な食事を日本中の全てのコンパニオンアニマルが得られることが当たり前の中にならばいいと思います。そして、そのために我々のような団体は何ができるのか。

グランを通してそうしたことを考えさせられます。



TSUBASA

「The Society for Unity with Birds – Adoption and Sanctuary in Asia」
(鳥と調和のとれる社会 – アジアの里親とサンクチュアリ)

TSUBASAは「人・鳥・社会の幸せのために」を理念に
レスキュー活動をする団体です

TSUBASAは、インコ・オウム・フィンチと暮らす全ての方、そして動物愛護に関心をお持ちの方に対してより良いバードライフのご提案と適正な飼育のための啓発活動を行っております。

また、様々な理由により手放されてしまった鳥たちを引き取り(里子制度)、
新しい飼い主さんを探す(里親制度)活動を行っております。

回覧板を 設置して下さいますか?

広く、皆さまに活動を
知っていただく事を目的とし
本誌を発行しております。
回覧板を設置して下さる団体様、
施設様を随時募集しています!



CONTENTS

Vol.34

- TSUBASALレスキュー事情2023 1
- 愛鳥祭りターン!! 3
- 講演・外部セミナーレポート 5
- TSUBASAの高齢鳥オールド 6
- 2023年鳥の出入り 他 7

TSUBASA レスキュー事情 2023

9羽の小型鳥

レスキュー 6月

- ▶カナリア:3羽
- ▶セキセイインコ:1羽
- ▶コザクラインコ:1羽
- ▶ボタンインコ:2羽
- ▶オカメインコ:2羽

レスキューの詳細はこちら



経緯.....

【飼い主様の緊急入院により】

鳥たちは亡くなられた旦那様から引き継いでおり、生前はお世話に携わることはなかったため鳥たちの詳細な情報は分かりません。

現場の様子.....

鳥たちが暮らしていたのは冷暖房・照明器具のない庭先の鳥小屋で、カナリアは1羽ずつカゴ飼い、他は放し飼いの状態でした。飼い主様は体調が悪く、掃除ができておらず餌・水の交換を週に2回しかできていませんでした。

鳥たちの様子.....

鳥たちが暮らしていたのは冷暖房・照明器具のない庭先の鳥小屋で、カナリアは1羽ずつカゴ飼い、他は放し飼いの状態でした。飼い主様は体調が悪く、掃除ができておらず餌・水の交換を週に2回しかできていませんでした。

1羽、翌日にコザクラインコ1羽・ボタンインコ1羽が亡くなってしまいました。非常に痩せていたカナリア2羽がいた一方で、コザクラインコは体重70gを超える超肥満体型と健康状態は様々でした。十分な看護すらさせてもらえず亡くなってしまい、悔しい思いをした事例です。

屋外で放し飼いにされており、お世話の頻度も少なかったため、みな人と関わった経験が少なかった鳥たちです。レスキュー当初は人がケージの前にいるだけでもケージ内をバタバタ飛びまわる状態でした。



秩父45羽の

レスキュー 11月

- ▶セキセイインコ:43羽
- ▶十姉妹:2羽

※2023年の中で、最も羽数の多いレスキュー事例です。

レスキューの詳細はこちら



経緯.....

【お世話にかかる費用の捻出が難しいため】旦那様を亡くされた寂しさがきっかけで、4羽のセキセイインコを飼い始めたそうです。途中2羽の十姉妹を迎え、その後セキセイインコが繁殖を繰り返してこの羽数になりました。

現場の様子.....

鳥たちは屋外の鳥小屋で暮らしていました。飼い主様は体の自由がきかず、掃除が行えなかったため、そこら中に餌・羽や便が散らかり積もっていました。鳥小屋前面の網の一部に大きな穴が開いており、いつ鳥たちが外にでてしまってもおかしくない状況でした。

鳥たちの様子.....

レスキュー時に巣箱内で1羽、亡くなっているセキセイインコを発見しました。亡くなっていた鳥は疥癬の症状が出るとともに非常に痩せていました。亡くなったセキセイインコ以外にも、多くの鳥たちに疥癬の症状がでていました。中には上嘴がない、上下ともに嘴が過長しているセキセイインコもいました。現在は施設で鳥たちの病状や、身体的な特徴に合わせ治療や看護を行っています。



その他のレスキュー事例



①詳細はこちら ②詳細はこちら

ルーカス@コバタン
飼い主様の入院により



爽&蜜@セキセイインコ
飼い主様のご逝去により

汐音@セキセイインコ
飼い主様のご逝去により



12羽のコザクラインコ
鳥が増えすぎたことによる、住宅の退去命令のため

TSUBASA レスキュー事情 2023

2023年のレスキューを振り返って.....

一年を通し、6件・70羽のレスキューを行いました。

飼い主様の不在・過酷な飼育環境など、ほとんどが迅速にレスキューを行わなければ救うことのできなかった命です。

その反面、飼い主様にTSUBASAという存在をもっと早い段階で認知していただければ、より多くの命が助かったのか

もしれないと考え、まだまだ力不足を感じます。

2023年にレスキューを行った鳥たちのほとんどが、年齢や病歴などお世話を引き継ぐうえで知っておきたい情報が分からない状態です。できることなら万が一のことなど想像したくはないと思います。しかし、ご自身の身に何かあった際に頼れ

る先があるだけでも愛鳥さんの今後の大きき変わると思います。

鳥たちのお世話を、孤独の中で抱え込んでいる人がいるのであればまずは誰かに相談してみてください。

それが、TSUBASAであってもご家族・ご友人であっても新しい道が開けるかもしれません。

～ご寄付のお願い～

飼えなくなった鳥たちの保護、お世話には莫大な費用がかかります。

皆さまからいただいたご寄付は、大切にTSUBASAの運営に使わせていただいています。

ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

振込先

「ゆうちょ」から

NPO法人TSUBASAの「ゆうちょ」へお振込いただく場合

【記号で入力の場合】

記号 10300
口座番号 73376151
名前 トクヒ)ツバサ

【店名で入力の場合】

店番 〇三八(読み ゼロサンハチ)
口座番号 73376151
名前 トクヒ)ツバサ

「他行」からNPO法人TSUBASAの「ゆうちょ」へお振込いただく場合

店名 〇三八(読み ゼロサンハチ)
店番 038
預金種目 普通
口座番号 73376151
名前 トクヒ)ツバサ

ご寄付いただく方へ

TSUBASAにいただいたご寄付は税の控除対象となります。領収書を発行させていただくためご住所等をお知らせください。お手数ではございますが、以下の項目をお書き添えのうえ、ご連絡いただきますようお願いいたします。

- ・メール件名→「寄付について」
- ・メール本文→NPO法人TSUBASAへの寄付であることを明記
- ・お名前
- ・ご住所(郵便番号)

いただいた個人情報につきまして、一般の方への公開はいたしません。ただし、事業年度ごとの報告において、寄付金総額と人数は公開させていただきますこととなりますので、あらかじめご了承くださいようお願いいたします。

連絡先

右のQRコードより「お問い合わせフォーム」に飛ぶことができます。あるいは、直接TSUBASAにメール(tsubasa0615@gmail.com)までお知らせ下さいませ。



お願い

- ・領収書は4か月に一回程度の発行となります
- ・お振込口座と寄付者様のお名前が異なる場合はお知らせください
- ・複数名の連名で寄付された場合は、領収書を受け取る方のお名前をご明記ください

【重要なお知らせ】ボランティアご協力をお願い

現在、TSUBASAでは施設内清掃や鳥たちのお世話のサポートをしてくださるボランティアさまが不足しています。鳥たちと遊ぶお時間を取ることはできかねますが、TSUBASAの活動を手助けしていただける方を募集しています。最短3時間からとなります。詳細は右記ご確認くださいませ。

みなさまのご協力をお待ちしております。



詳細はこちら▲

愛鳥祭りターン!!

2023年10月1日
東京都立産業貿易センター
浜松町館(東京都港区)

2020年、新型コロナウイルスの影響を受け
予約していた会場(浜松町館)をキャンセルせざるを得ない事態に。
必ずここへ帰ってくるぞ!と願ってから4年ぶり
浜松町館での念願の開催です。
新しい企画もいっぱい臨みました。



愛鳥さんや施設で暮らす
鳥たちのために、安全で楽しい
手作りおもちゃを作ろう!

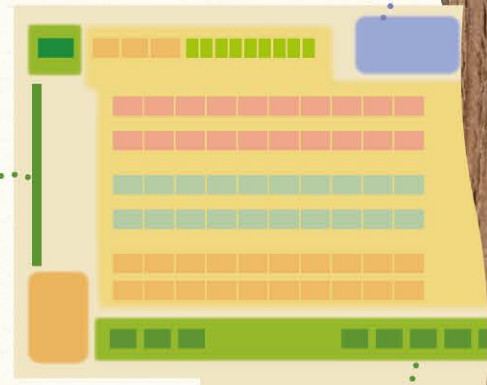
「おもちゃ作り教室」

急遽、席を増設するほどの賑わいに!参加者さま
のアイデアや、お悩みなどを聞くことができ、私
たちの勉強にもなりました。愛鳥さんとの素敵な
おもちゃライフの一助になれば嬉しいです。



初企画! 「社会貢献枠」

各団体様の活動を知ることで、TSUBASA
の活動だけでは到底サポートできない
様々な社会の課題があるのだと学びまし
た。それと共に、これからも連携させてい
ただきたいと感じました。



大好評! 「スタンプラリー」

スタンプラリーは、団体様から
もお客様からもご好評いただき、とても嬉しかったです!!



TSUBASAの原点。トキちゃん(オオバタン)と創設者松本の出会いがなければ、きっとTSUBASAは誕生していません。頭以外の羽毛がほとんどなかったけど、真っ黒でキラキラした瞳が心をとらえたそう。トキちゃんを引き受けたことが、TSUBASA設立のきっかけとなりました。



楽しんでいただくのはもちろん
売上げは全て施設の
エアコンクリーニング代に!

「くじ引き」

たくさんの方が足を運んでくださり、1回引いてくださった方が、時間をおいてから「楽しかったからもう一回来たかった!」ということも。おかげさまで、今年もクリーニングができます! ご協力ありがとうございました。



「支援の羽」

「支援の羽」とは、手作り雑貨を無償でご提供いただき、売上を全てTSUBASA並びに鳥たちのために使わせていただく活動です。

作品をご提供して下さった作家様、お手伝いいただいたボランティアの皆様、お買い求めいただいた愛鳥家の皆様、ありがとうございました!



現地とYouTubeライブの
ハイブリット開催!

グレードアップ! 「無料セミナー」

ご遠方の方など、会場にお越しになれなかった方々にも愛鳥祭気分を味わっていただけていたら嬉しいです。今後は、現地開催の愛鳥祭でも全国の方にお楽しみいただけるオンライン企画も増やしていけると良いな。



トキちゃんの胸元を
皆さまからの温かいメッセージで
ふっかふかにしよう!

「ふっかふか募金」

募金をしていただいた方に、トキちゃんへのメッセージを付箋に書いていただき、トキちゃんポスターに貼っていただきました。



大抽選会

心のこもった素敵なプレゼントをご提供くださいました出展企業様、クリエイター様。心より感謝申し上げます!



ご来場者数: 約1,600名

参加企業・クリエイター・団体: 100組

みなさまありがとうございました。
愛鳥祭2024で
お会いしましょう!

第8回愛鳥祭については



愛鳥塾デビューしました!

講師：城ヶ崎(入社4年目)

初めての講演のテーマは

「備え～もしもの時のために～」

■入社して4年目になる飼育スタッフの城ヶ崎です。

昨年7月に地元である神戸の愛鳥塾で、初めて講師として講演をさせていただきました。コロナ禍の入社だったため、対面式のセミナー自体も2回目というドキドキの愛鳥塾デビューとなりました。

80名ほどの愛鳥家さんを前に緊張しかりませんでした。少しでも愛鳥さんとの生活に活かしてもらえたらいいなという思いで臨みました。そして次の日には、福岡の愛鳥塾でも講師としてお話しさせていただくという、落ち着いた間もない弾丸スケジュールでした。



■テーマは「～備え～ もしもの時のために」

TSUBASAにくる手放しのご相談は絶えません。

鳥さんは長寿であるがゆえに飼い主さんが先に亡くなってしま

うというケースが、他の生き物よりも多いのではないかと思います。

小型鳥でも10年～20年、大型鳥では50年生きる子たちもおり、一世代での終生飼養ができないことも珍しくありません。実際にあったご相談や、たくさんの鳥さんをお世話する中で思う事をまとめてお話



させていただきます。

CITES1に指定される鳥さんの登録票のことから、鳥さんの社会

化という点までギュッと詰め込みました。

手放さなくても済むように引き継げる人を見つけておくなど、できる限りの準備しておくこともとても大切ですが、万が一が起きた時に次に繋ぐための備えがとても重要です。また、講演をさせていただく際は参加者の皆さんに必ず、もしもの時のための準備ができているか聞くようにしています。これまで何度かこのテーマで講演をさせていただいていますが、どの会場でも準備ができているという方は数名しかいらっしゃいません。

これからもこの講演を続けていく中で、いつか会場にいらっしゃる方全員が自信をもって挙手できる日が来ると嬉しいです。



小学校で授業をしました!

講師：望月&ラブ@タイハクオウム

小学3年生・約80名に「動物博士になろう」という授業で鳥について話しました。



■8月に小学校からのご依頼があり授業をさせていただきました。「動物博士になろう」という授業の一環で、

ドッグトレーナーや獣医師等、動物に携わる仕事をされている方を講師としてお招きされている中、鳥についてお話してほしいというご依頼がありお話しさせていただきました。

■対象は小学3年生で約80名。

小学生を対象とした授業は私自身初めて



で、興味を持ってくれるか心配だったのですが、大型の鳥が間近にいたこともあり、皆さん真剣に聞いてくれました。

動物が好きならばばかりではありませんが、80名もいて鳥を飼っていたのはわずか1人のみでした。そのため、皆さんにとって今回の鳥の話は新鮮だったようです。

インコやオウムがどういった生き物なのか

をはじめ、レスキューの現状などをお話ししました。

鳥の魅力と同時に、飼うことの難しさも伝えられたのではないかと思います。

最後はラブを手に乗せたり触れ合ってもらいました。

今回の授業で、将来の動物博士が生まれるキッカケになれば嬉しい限りです。



推定59歳

TSUBASAの「オールド」 高齢鳥の症状と対処



TSUBASAはレスキュー団体として活動をしているため、若い鳥はあまりおらず大半が中年から高齢です。その中でも、オールドはTSUBASAで1番の高齢個体です。今では【村鳥(長)】と呼ぶなどして、TSUBASAを象徴するような鳥さんになっています。

鳥のサイズが大きくても小さくても、いつかはやってくるシニア期。歳の取り方は、同じ種類でも様々ですが一つの実例としてご覧いただければと思います。

オールド プロフィール

- キエリボウシインコ(メス)
- 推定59才(2023年現在)まもなく還暦を迎えます
- 「もしもし亀よ」や「日大の校歌」など

が歌えましたが、今は機嫌の良い時に何か喋っていますが聞き取れる言葉は「オールド!」という自身の名前だけです。

- 1966年…成鳥で飼い主様購入
- 2002年…TSUBASAで引き取る
- 2014年…脚弱が顕著になり、だんだんと食欲低下や嘔吐が増える
- 2020年10月…初めての痙攣(けいれん)※そこから毎年季節の変わり目に頻発

●2023年10月…痙攣が10時間以上に渡り続く。注射薬も効かず一時は意識が戻る可能性は低いと思われましたが奇跡的に復活!(痙攣中は眠ることも食べることもできませんでした。)

●2023年11月…本記事を執筆している現在は安定した歩行も可能になり、自己採食もしています。



鳥さんが痙攣(けいれん)を起こしたら? (TSUBASAの場合)

鳥さんが痙攣を起こすと慌ててしまうものです。鳥ではできる検査に限りがあるため、痙攣の原因を特定する事が難しいといわれています。TSUBASAでは、痙攣時には以下のことを意識して対処しています。

①安全への配慮

痙攣中は、鳥自身の意志で体が動くわけではありません。そのためあちこちにぶつかったりして、二次的に怪我をする恐れがあります。TSUBASAでは写真のように毛布を敷いて怪我を避けたり、プラケに入れるなどしてそっと様子を見守ります。



②室温の配慮

鳥たちが痙攣を繰り返すと、それにより体温が上昇します。高体温になることを防ぐため、TSUBASAでは痙攣が起きたときには室温を少し下げています(通常、看護室は30度の室温ですが痙攣時は意図的に温度を下げています)。

TSUBASAには獣医師が在籍しているため、並行して注射薬による痙攣の抑制も行っています。見守ることが中心のそんなにささやかな対処しかないの?と思われるかもしれませんが、基本的に痙攣中は行えることには限りがあります。今回、オールドは奇跡的に意識が戻りましたが、それを当たり前と思わずに季節の変わり目にはしっかり観察して注意したいと思います。

皆さまも愛鳥さんが痙攣を起こした際には、何かしらしてあげたくと思います。ただ、こちらが与えた刺激が次の発作のきっかけになってしまう可能性があるので、安全対策をして治まるまでは見守り、自然と治まらない場合は病院に行くことをお勧めします。

終わりに

高齢鳥と向き合うということは、回復の兆しのない長いケアがほとんどです。つらくなることもあります。共に歩んだ年月の分だけ体が衰えるのは必然です。一緒に過ごせることに感謝をしつつ、なるべくゆっくりつらくない形で年をとってね、といつも思わずにはられません。オールドや高齢鳥を通して気づきがありましたら、また皆さまと共有させていただきたいと思います。

2023年1月～12月鳥の出入り

里親決定羽数 **53**羽

これまで不定期開催だった里親会も毎日(水曜を除く)一組限定で開催しており、昨年は49羽の鳥たちが新しいお家の一員としてお迎えしていただきました!嬉しいことに施設歴の長い鳥さんも数羽卒業することができました。この場をお借りして、里親様やお迎えを検討して下さった皆さまに御礼申し上げます。YouTubeにアップしている「ゆく鳥くる鳥」で鳥さんの出入りの詳細が分かりますのでぜひご覧ください。



受け入れ羽数 **90**羽

昨年は小規模から大規模なものまでレスキューの多い1年となりました。合計6件のレスキューを行いました。そのうちの2件は飼い主様のご逝去により役所の方からのご依頼でした。このようなレスキューに伴い、ご寄付やお野菜、飼育用品などたくさん施設に届きました。皆さまに多くのご支援をいただいているおかげで、こうしたレスキューにも取りくむことができます。改めまして、ご支援いただいている皆さまに心より御礼申し上げます。



現在里親募集中の鳥さんは
こちらからチェック!



2024年 イベントのご案内

2月3日(土) 【大阪】講演会:京阪守口店
2月4日(日) 【東京】第161回愛鳥塾(対面式)
2月4日(日) 【岡山】第162回愛鳥塾(対面式)
2月13日(火) 【埼玉】第163回愛鳥塾(対面式)
2月23日(金・祝) TSUBASAフォーラム
2月25日(日) 【埼玉】BLA3級認定講座
3月17日(日) 【埼玉】BLA3級認定講座
3月31日(日) 【名古屋】第164回愛鳥塾(対面式)

4月14日(日) 【広島】第165回愛鳥塾(対面式)
4月20日(土) 【大阪】BLA3級認定講座(対面式)
4月21日(日) 【大阪】TSUBASAシンポジウム(対面式)
5月3日(金) 【神戸】第166回愛鳥塾(対面式)
5月19日(日) 【新潟】第167回愛鳥塾(対面式)
5月26日(日) 【福岡】第168回愛鳥塾(対面式)
7月7日(日) 【仙台】第169回愛鳥塾(対面式)



詳細はこちら!

イベントの詳細は

TSUBASA公式ホームページやブログから随時ご案内!



秩父レスキュー限定の里親会を開催します!

昨年11月に45羽という大所帯で施設にやってきた、セキセイ43羽・十姉妹2羽(通称:秩父レスキュー組)の里親会を開催予定です。体調や身体的に不安のある子もいますが、皆が温かいご家庭で幸せになれるよう広報も頑張っていきます。



里親会について
詳しくはこちら!
※詳細が決まり次第
随時更新



新入職員ご紹介



みなさま初めまして。2023年4月に入社しました新田莉子(にたりこ)と申します。TCA東京ECO動物海洋専門学校出身です。実家ではセキセイインコを飼っています。鳥の飼育歴はまだ浅く、経験や知識が少ないため、たくさん勉強し精一杯頑張ります。どうぞ、よろしく申し上げます。



みなさま初めまして。2023年12月に入社した家入晋平(いえいりしんぺい)と申します。前職は市役所職員で、11月に熊本からTSUBASAのある埼玉に引っ越してきました。小さい頃から鳥は大好きでしたが、これまで学業や仕事として鳥や動物に関わったことはありません。まだまだ経験不足は否めませんが、一日でも早くTSUBASAの先輩スタッフや先輩鳥たちに認めてもらえるよう頑張ります。どうぞ、よろしく申し上げます。